



※「ガッチャンコ」とは…

「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたいという願いがこめられています。

**Press Release**

**HBC 北海道放送株式会社**

2025 年 3 月 31 日

## HBC 制作 『劇場版 クマと民主主義』 上映時間 & 舞台あいさつ決定 TBS ドキュメンタリー映画祭 2025



**クマと人の課題。その背景に見えてきたのは、人と人の課題だった。**

4 月 5 日から札幌・シアターキノで開催される「TBS ドキュメンタリー映画祭 2025」。HBC 制作の『劇場版 クマと民主主義』の上映日時が決定しました。2018 年からニュースで伝え続け、2019 年・20 年・24 年にテレビドキュメンタリーとして放送したものに新たな要素を加え、ドキュメンタリー映画化した作品です。

### 『劇場版 クマと民主主義』上映日時（札幌・シアターキノ）

① 4 月 5 日(土)午後 2 時半～ ② 7 日(月)午後 6 時半～ ③ 9 日(水)午後 6 時 40 分～

5 日の上映後は、酪農学園大学の佐藤喜和教授と、監督による舞台あいさつを行います。

法改正など、国全体でもクマ対策の大きな転換点を迎えている今、これからのクマ対策に求められることや、札幌のクマ対策などについて話します。

### 【あらすじ】

夕食後、外でガラスが割れる音が響いた。窓を覗くと、黒い影が見えた。ヒグマだ。「家に入ってくるかもしれない…」そんな恐怖の夜が、2 か月も続いた。やっと解決したかに思えたとき、今度は住民が頼ってきたハンターたちの姿が突然消えた。クマの被害、ハンターの制約、政治の不透明さ。7 年前、北海道の小さな村が直面した課題は、今や全国に広がっている。村が歩んできた道のりに、クマ対策のヒントがあった。

(監督: 幾島奈央 編集: 永井孝典 撮影: 岡本貴寿 宮形徹 大内孝哉)

VE: 小関大輔 MA: 西岡俊明 CG: 長崎洸祐 プロデューサー: 山崎裕侍)

**【TBS ドキュメンタリー映画祭とは】**

TBS テレビや TBS 系列の各局の記者やディレクターたちが、歴史的イベントやいま起きている出来事、市井の人々の日常を追い続け、記録し続け、熱い思いとともにドキュメンタリー映画として世の中に発信し続けるために立ち上げられたブランド「TBS DOCS」。「TBS ドキュメンタリー映画祭」は、TBS DOCS が手がけた至極の作品を集めた映画祭。テレビや SNS では伝えきれない事実や声なき心の声を発信し続ける本気のドキュメンタリー作品に出会える場として、2021 年より開催し、今回で第 5 回を迎える。

現代を取り巻く重要な社会問題を考える「ソーシャル・セレクト」、多様な生き方や新たな価値観を見つめる「ライフ・セレクト」、表現者や歴史再発見を通して新たな感性に出会える「カルチャー・セレクト」の 3 つのテーマに沿って、上映作品を選出。あわせて、「戦後 80 年企画」と題して、戦時下や戦後を生きた人々を映した作品も特別上映。

これまでも『三島由紀夫 vs 東大全共闘 50 年目の真実』(監督:豊島圭介・20)、『ももいろクローバーZ アイドルの向こう側 特別上映版』(監督:酒井祐輔・22)、『人生クライマー 山野井泰史と垂直の世界 完全版』(監督:武石浩明・22)、『戦場記者』(監督:須賀川拓・22)、『シーナ&ロケッツ 鮎川誠 ロックと家族の絆』(監督:寺井到・23)、『オートレーサー森且行 約束のオーバル 劇場版』(監督:穂坂友紀・23)など、12 作品以上を劇場公開へ繋げている。

**【札幌会場・シアターキノ】**

・北海道札幌市中央区南3条西6丁目 南3条グランドビル 2F

・チケットなど詳細はシアターキノホームページ(<https://www.theaterkino.net/>)からご確認ください

**【お問い合わせ先】**

HBC 北海道放送 報道部  
(電話)011-232-5876